

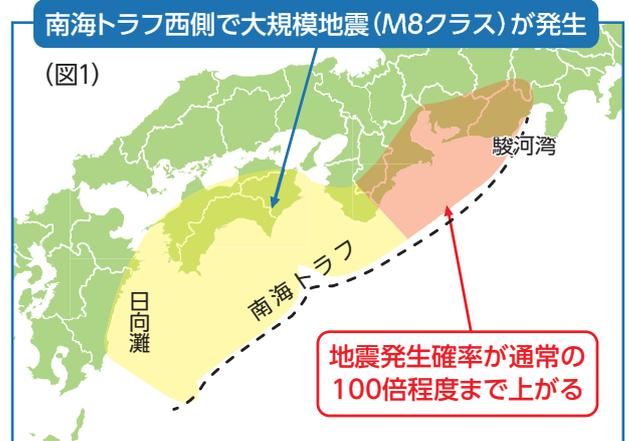
南海トラフ地震臨時情報を知って 地震に備えよう

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域としており、これまでに何度も大きな被害をもたらしてきました。南海トラフの西側と東側では、時間差で連動した地震が発生する可能性があることから、南海トラフのどこかで地震が発生した場合、次の地震が発生する可能性が高まったとして気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。突然の発表に慌てないためにも、今からできる対策をして、地震に備えましょう。

問合せ 防災危機管理課(☎51・3116) HP 80343

南海トラフ地震臨時情報とは

100～150年に一度発生している南海トラフ地震。直近2つの事例は、それぞれ約32時間後と約2年後に連動して次の地震が発生しています。仮に、南海トラフの西側で大規模地震(M8クラス)が発生した場合、東側でも通常の100倍程度の確率で地震が発生すると予測されています(図1)。今後、南海トラフのどこかで地震が発生した場合に、次の地震が起こる可能性を調査し、「注意」や「警戒」などのレベルに分類して、テレビやラジオなどで「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合

臨時情報発表後	事前避難対象地域	その他の地域
～1週間	⚠️ 全住民が避難	地震への備えを確認し 日常生活を送る
～2週間		
2週間以降	引き続き地震の発生に警戒し、日常生活を送る	

⚠️ 事前避難対象地域のある小学校区

前芝	牟呂	大崎	高根
津田	磯辺	杉山	小沢
吉田方	汐田	豊南	細谷

左記の小学校区の一部を事前避難対象地域に指定しています。自宅が該当するかどうかを事前に「ちずみる豊橋」で確認するか、お問い合わせください。なお、該当する方は、事前避難対象地域や津波浸水想定区域以外の知人宅や避難所へ避難できるよう、事前に準備をしておきましょう。



ちずみる豊橋

i 南海トラフ地震臨時情報Q & A

Q なぜ事前避難対象地域を指定したの？

A 後発地震に伴う津波に備え、事前に避難することで住民の安全を確保するため、対象地域を指定しています。

Q 事前避難対象地域内での生活に影響はあるの？

A 南海トラフ地震臨時情報が発表されると、地域内の一部を除いた小・中学校が休校となるほか、公共施設なども閉館し、地震の発生に備えます。

Q 緊急地震速報との違いは？

A 緊急地震速報は、大きな揺れの直前に発表されるものです。一方、南海トラフ地震臨時情報は、地震発生の可能性が高まったことを受けて、事前避難を促すものです。

i 突然の地震に備えて

南海トラフ地震臨時情報が発表される前に、豊橋が位置する南海トラフの東側で先に地震が発生する可能性もあります。自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。

ポイント1 家具などを固定する



避難の妨げとならない場所へ家具などを移動するほか、倒れやすい大きな家具は固定しましょう。特に寝室やリビングなど、家族が長時間過ごす場所は念入りに対策してください。

ポイント2 水や食料品、日用品の備蓄



災害後は支援物資の到着遅延などが生じるおそれがあります。最低でも3日分の水や食料、日用品を備えておきましょう。なお、事前避難対象地域にお住まいの方は、さらに7日分の備蓄があると安心です。

ポイント3 家族との連絡方法の確認



家族の安否確認のため、災害用伝言サービスなどの利用方法を確認しましょう。また、地震が起きた際の集合場所を確認しておくことで、連絡手段が絶たれたときや、離れ離れになった場合でも安心です。

ポイント4 避難先などの確認



避難先となる知人宅や避難所への避難経路を家族で確認しましょう。海岸沿いや崖の近くを通っていないか、安全な避難経路であるかなど、市が公開している防災マップで確認しておくことが必要です。

information

南海トラフ地震臨時情報を動画で解説しています

南海トラフ地震臨時情報の概要や、具体的な対応を解説します。



南海トラフ地震から
いのちを守るために

南海トラフ地震臨時情報も配信 「豊橋ほっとメール」をご利用ください

英語やポルトガル語、中国語などの5言語に対応した災害情報を配信します。



豊橋ほっとメール